学齢期以降の「遊び」について（論点）

〇遊びの本質について

・こどもの権利をベースとした遊びの支援のあり方

・遊びと体験活動の整理

・遊びの変化（遊びのデジタル化等）について捉える必要性

〇遊びの環境（物理的環境、人的環境）について

・都市部と地方での環境面の変化

・遊びに関わる大人のあり方

・これまで開発したプログラムの活用

〇学齢期以降のこどもの遊びの特徴について

・こどもが主体的に遊ぶこと

・こどもの意見と遊びの選択があること

・習い事等による時間の分断が起きていること

〇 個別の課題

（１）児童館

・イベント中心の取組

・遊びを支援する職員の力量形成

（２）放課後児童クラブ

・集団規模や利用スタイルの変化

・居場所となるための遊び

（３）その他の居場所における遊びについて

〇 その他

・緊急時（災害時、感染症蔓延時等）における遊びについて